

I 調査結果の概要

喫茶店営業

1 一般的事項

(1) 経営主体

調査対象となった379施設について経営主体別にその割合を見ると「個人経営」が70.2%、次いで「株式会社」が15.0%、「有限会社」が12.7%となっている。

また、構成割合を前回の平成15年調査と比べると「株式会社」が6.3ポイント上昇したのに対し、「有限会社」では8.3ポイント低下している。

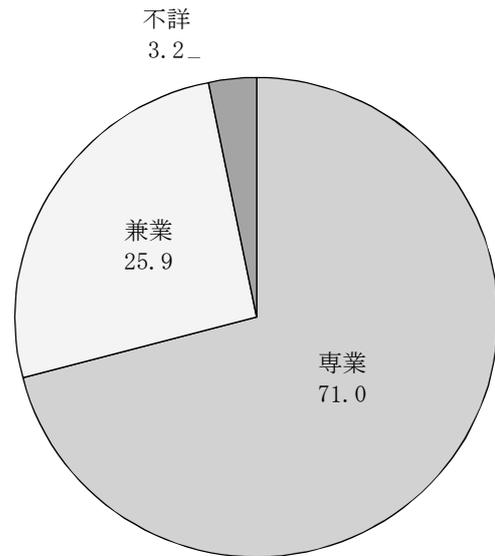
(表1) 経営主体別施設数及び構成割合

区 分		平成10年	平成15年	平成20年
施 設 数	総 数	1,818	519	379
	個人経営	1,254	358	266
	株式会社	267	45	57
	有限会社	255	109	48
	そ の 他	42	7	8
構 成 割 合 (%)	総 数	100.0	100.0	100.0
	個人経営	69.0	69.0	70.2
	株式会社	14.7	8.7	15.0
	有限会社	14.0	21.0	12.7
	そ の 他	2.3	1.3	2.1

(2) 専業・兼業の別

専業・兼業別に全体の施設数の構成割合を見ると、「専業」が71.0%、「兼業」が25.9%となっている。

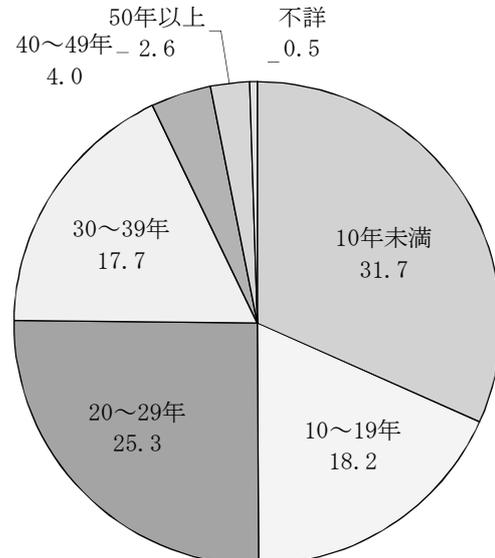
(図1) 専業・兼業別施設数の構成割合(単位:%)



(3) 創業年

創業年別に全体の施設数の構成割合を見ると、「10年未満」が31.7%と最も高く、次いで「20～29年」が25.3%となっている。

(図2) 創業年別施設数の構成割合(単位:%)



(4) 店舗の形態

店舗の形態別に全体の施設数の構成割合を見ると、「単独店（支店を持たない本店）」が97.4%と最も高くなっている。
 また、経営主体別に見ると、「個人経営」、「株式会社」「有限会社」全てにおいて、「単独店」が最も高くなっている。

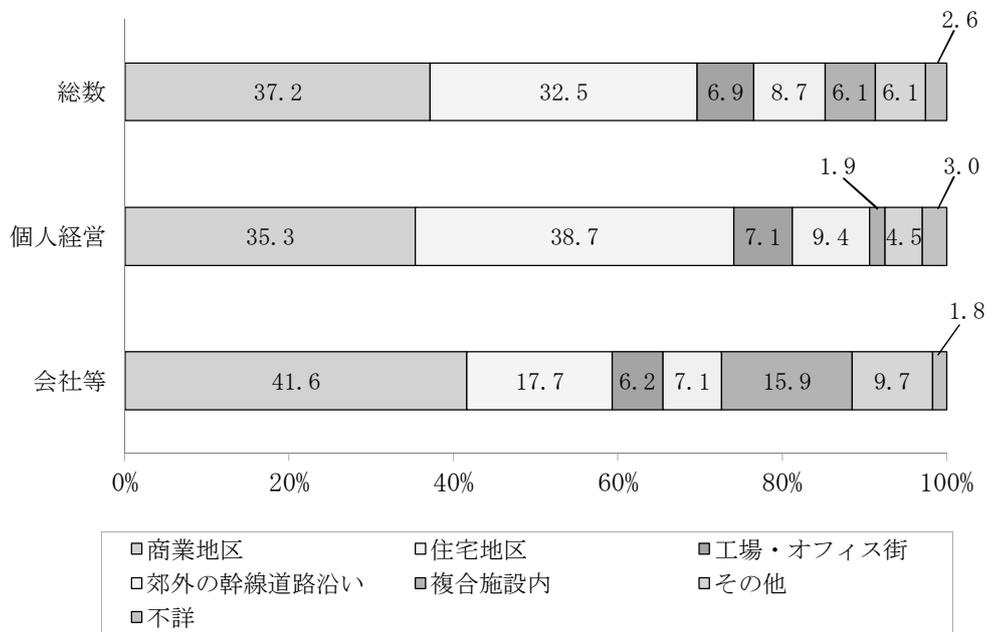
(表2) 店舗形態、経営主体別施設数及び構成割合

区 分		総数	単独店	本店	支店	不詳
施 設 数	総 数	379	322	22	33	2
	個人経営	266	259	6	1	-
	株式会社	57	24	10	22	1
	有限会社	48	36	5	6	1
	その他	8	3	1	4	-
構 成 割 合 (%)	総 数	100.0	85.0	5.8	8.7	0.5
	個人経営	100.0	97.4	2.3	0.4	-
	株式会社	100.0	42.1	17.5	38.6	1.8
	有限会社	100.0	75.0	10.4	12.5	2.1
	その他	100.0	37.5	12.5	50.0	-

(5) 立地条件

立地条件別に全体の施設数の構成割合を見ると、「商業地区」が37.2%と最も高くなっている。
 また、経営主体別に見ると、「個人経営」では、「会社等」に比べ「住宅地区」、「工場・オフィス街」及び「郊外の幹線道路沿い」がともに高くなっている。

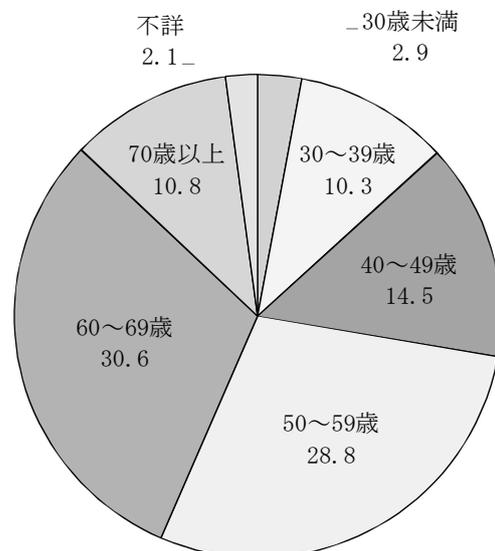
(図3) 立地条件、経営主体別施設数の構成割合



(6) 経営者の年齢

経営者の年齢階級別に全体の施設数の構成割合を見ると、「60～69歳」が30.6%と最も高く、次いで「50～59歳」が28.8%となっている。

(図4) 経営者の年齢別施設数の構成割合 (単位：%)

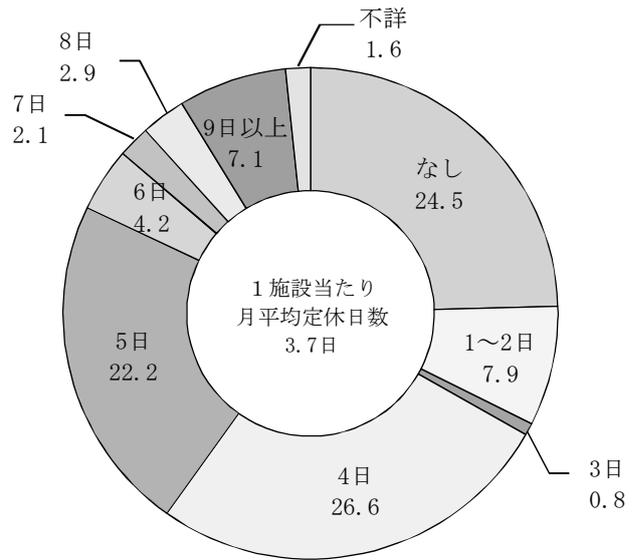


(7) 1ヶ月の定休日数

1ヶ月の定休日別に全体の施設数の構成割合を見ると、「4日」が26.6%と最も高くなっている。

また、1施設当たりの1ヶ月の平均定休日数は3.7日となっている。

(図5) 1ヶ月の定休日数の構成割合 (単位: %)

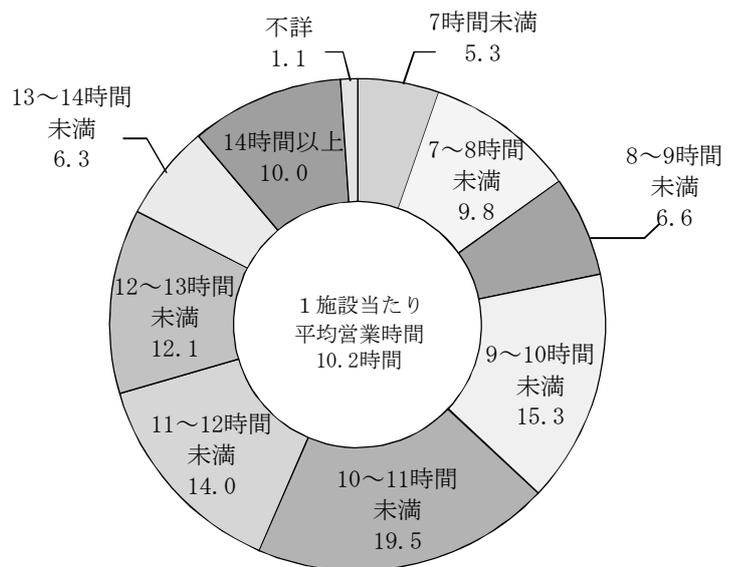


(8) 1日の営業時間

1日の営業時間別に施設数の構成割合を見ると、「10~11時間未満」が19.5%、次いで「9~10時間未満」が15.3%となっている。

また、1施設当たりの平均営業時間は10.2時間となっている。

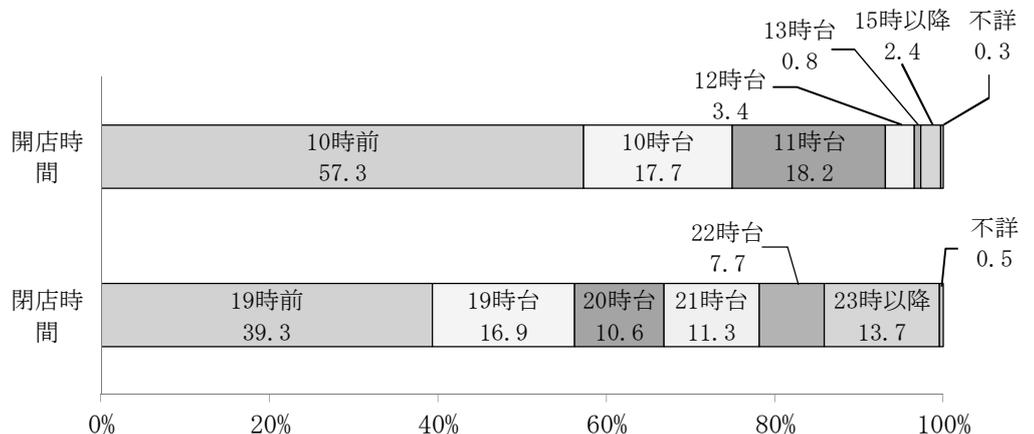
(図6) 1日の営業時間別施設数の構成割合 (単位: %)



(9) 開店時間と閉店時間

開店時間・閉店時間に施設数の構成割合を見ると、開店時間では、「10時前」が57.3%と最も高く、閉店時間では「19時前」が39.3%と最も高くなっている。

(図7) 開店時間・閉店時間別施設数の構成割合



2 経営に関する事項

(1) 1日の平均客数と客1人平均食事単価

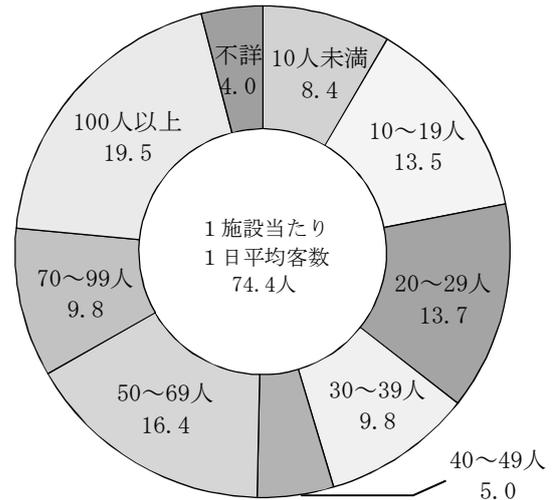
1日平均客数別施設数の構成割合を見ると、「100人以上」が19.5%と最も高く、次いで「50～69人」が16.4%、「20～29人」が13.7%となっており、1施設当たりの1日平均客数は74.4人となっている。

また、経営主体について、1日平均客数別施設数の構成割合を見ると、「個人経営」では「10人未満」が93.8%と最も高く、「株式会社」では「100人以上」が45.9%、「有限会社」では「100人以上」が23.0%、「その他」では「10人未満」が3.1%となっている。

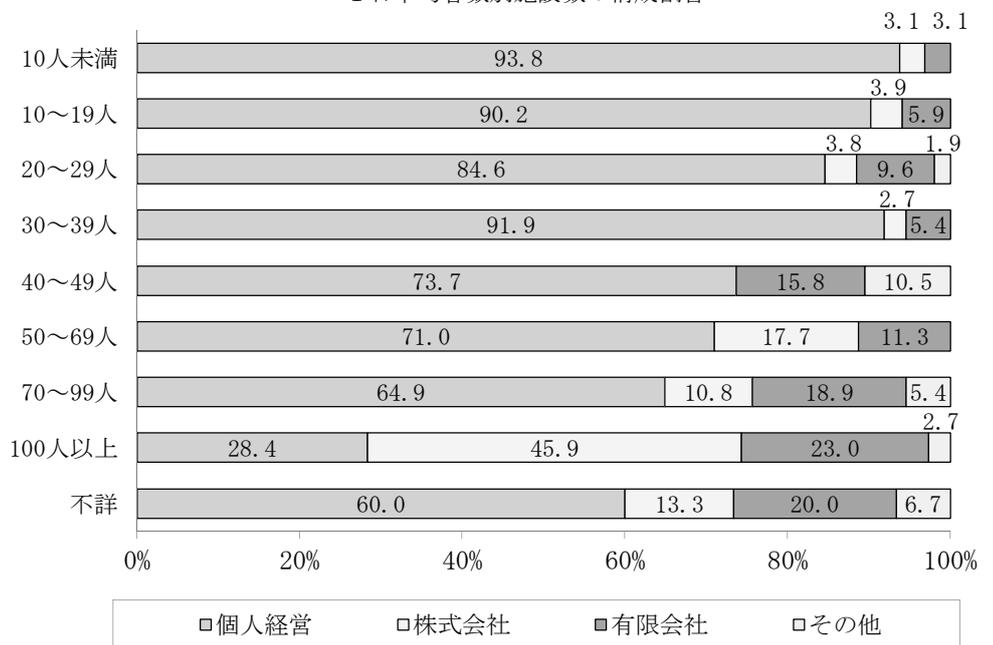
次に、経営主体別に客1人平均食事単価を見ると、「有限会社」が887円と最も高く、「株式会社」の634円に対して、約253円高くなっている。

次に、経営主体別に客1人平均食事単価を見ると、「有限会社」が887円と最も高く、「株式会社」の634円に対して、約253円高くなっている。

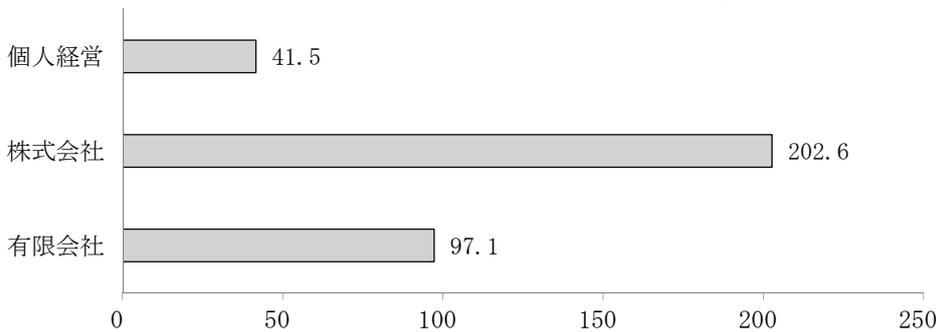
(図8) 1日平均客数の構成割合 (単位: %)



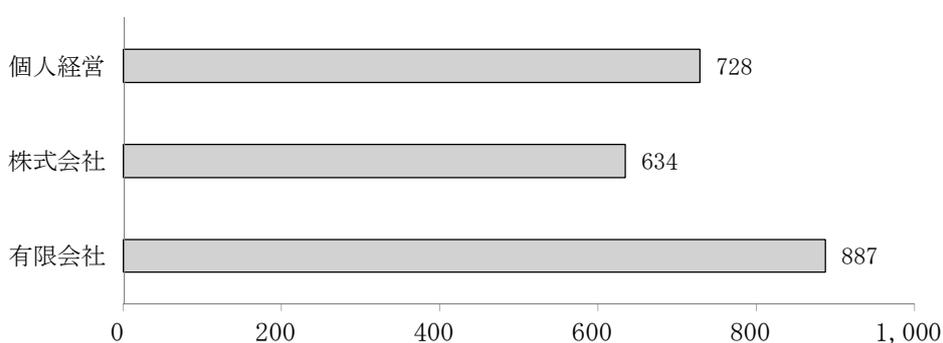
1日平均客数別施設数の構成割合



経営主体別1施設当たり1日平均客数 (単位: 人)



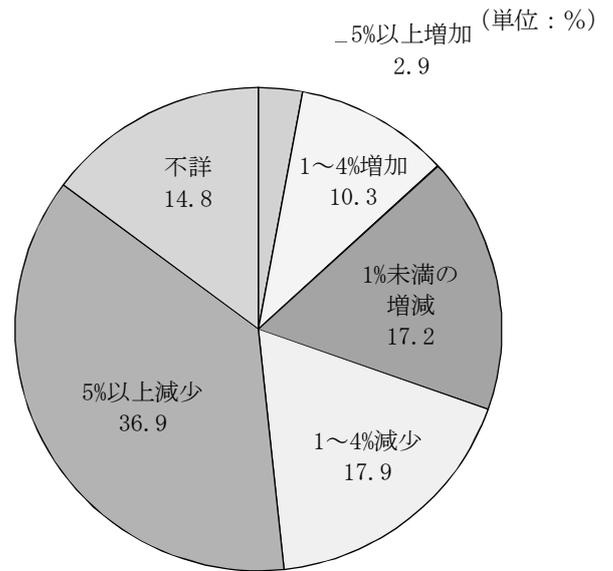
経営主体別客1人平均食事単価 (単位: 円)



(2) 前年度と比較した今年度の売上

前年度と比較した今年度の売上の施設数の構成割合を見ると、「5%以上減少」が36.9%と最も高く、次いで「1~4%減少」が17.9%となっており、1%以上減少している施設は、全体の5割以上を占めている。

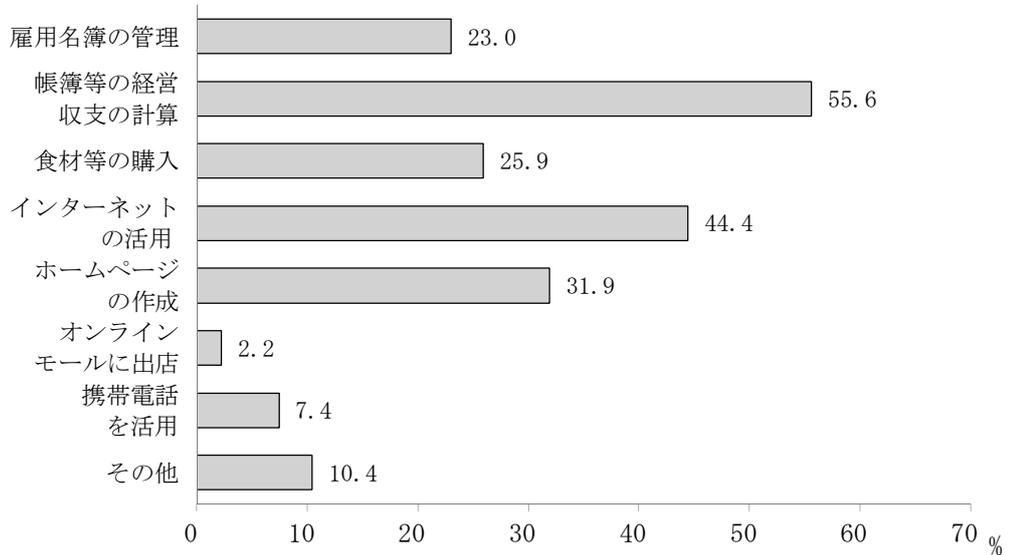
(図9) 前年度と比較した今年度の売上の施設数の構成割合



(3) パソコン等の導入状況

パソコン等の導入状況別施設数の割合を見ると、「帳簿等の経営収支の計算」が55.6%、「インターネットの活用」が44.4%、「ホームページの作成」が31.9%と高くなっている。

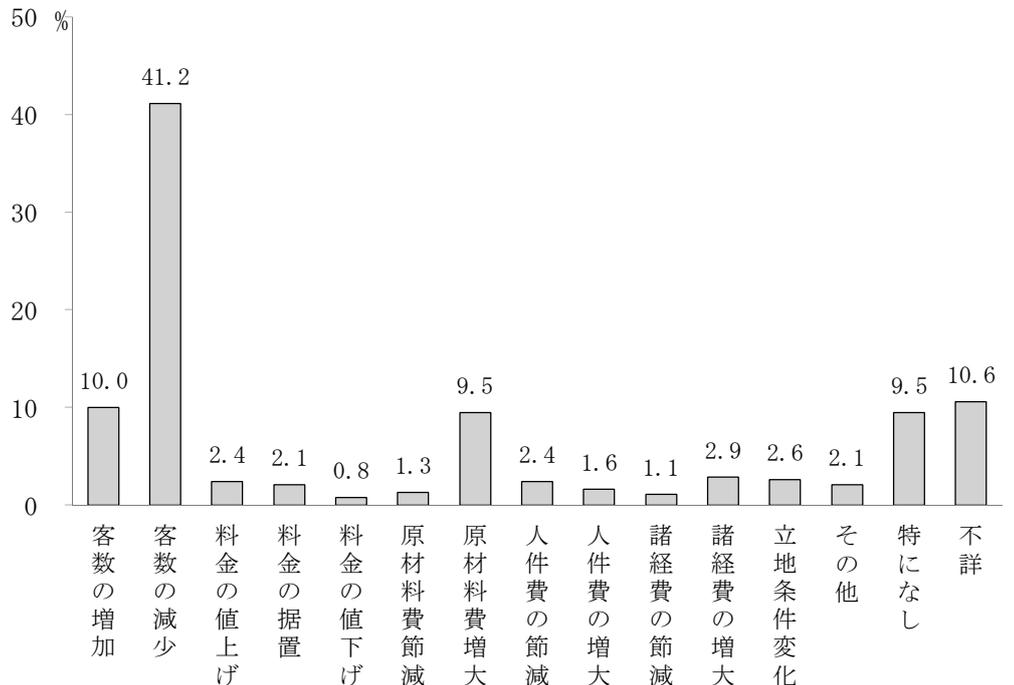
(図10) パソコン等の導入状況別施設数の構成割合 (複数回答)



(4) 本業の当期純利益の動向の主な原因

当期純利益の動向の主な原因を見ると、「客数の減少」が41.2%となっており、それ以外の原因と比べ極端に高くなっている。

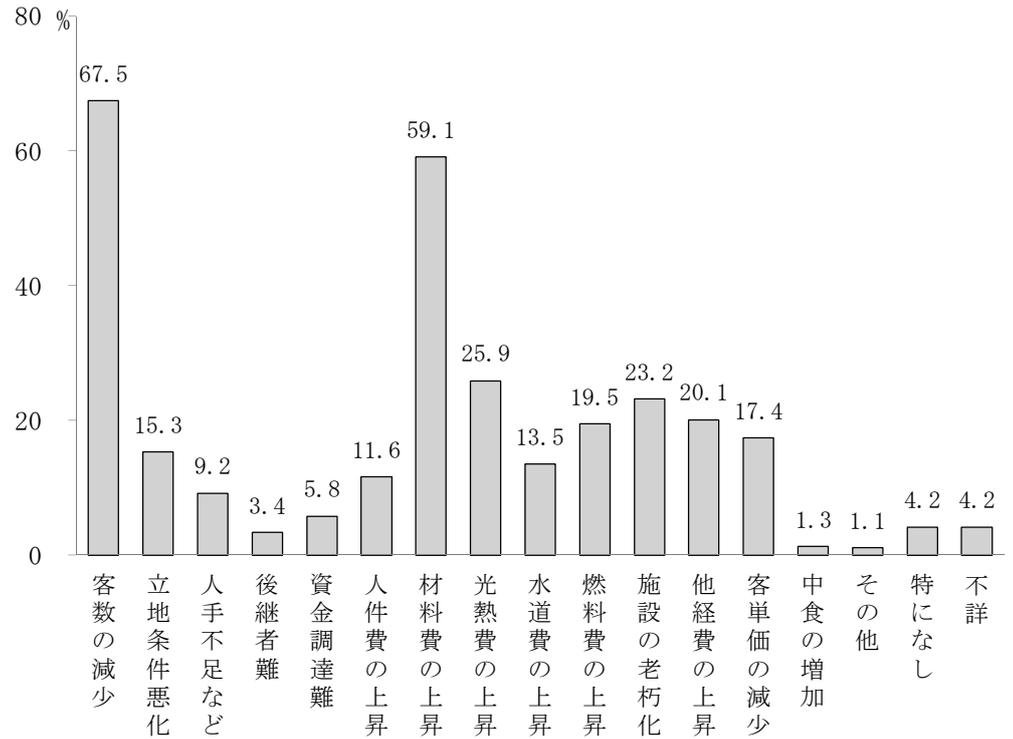
(図11) 本業の当期純利益の動向の主な原因の施設数の構成割合



(5) 経営上の問題点

経営上の問題点別に施設数の割合を見ると、「客数の減少」が67.5%、「材料費の上昇」が59.1%、「光熱費の上昇」が25.9%、「施設・設備の老朽化」が23.2%と高くなっている。

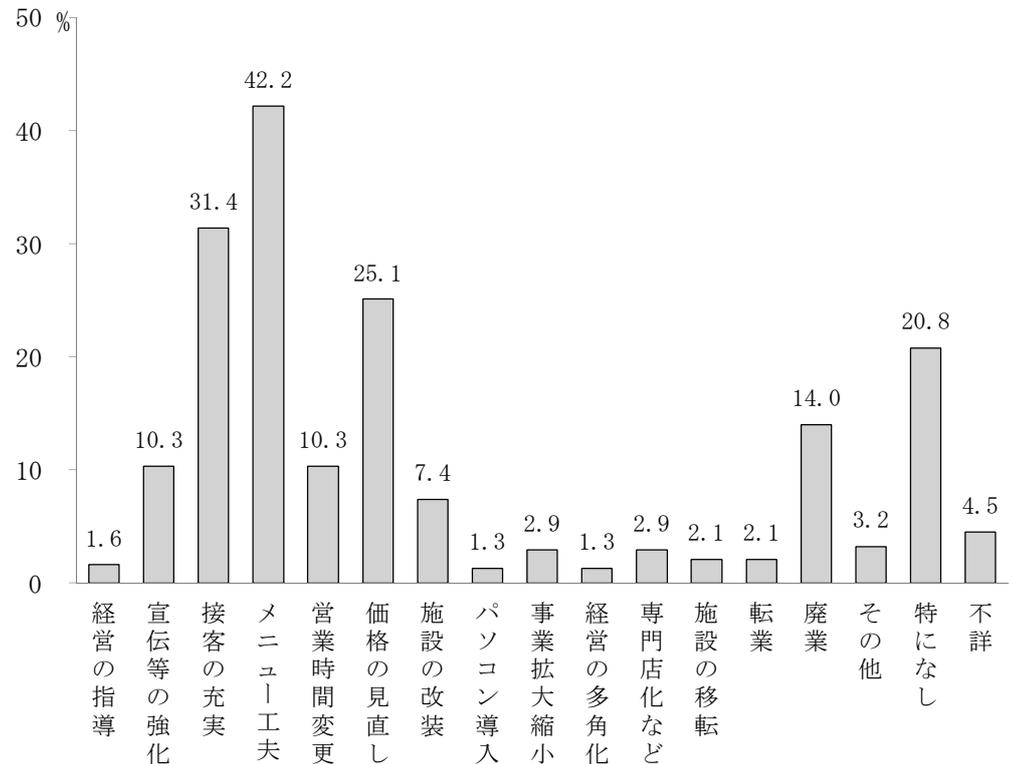
(図12) 経営上の問題点別施設数の構成割合 (複数回答)



(6) 今後の経営方針

今後の経営方針別に施設数の割合を見ると、「食事メニューの工夫」が42.2%、「接客サービスの充実」が31.4%、「価格の見直し」が25.1%と高くなっている。

(図13) 今後の経営方針別施設数の構成割合 (複数回答)



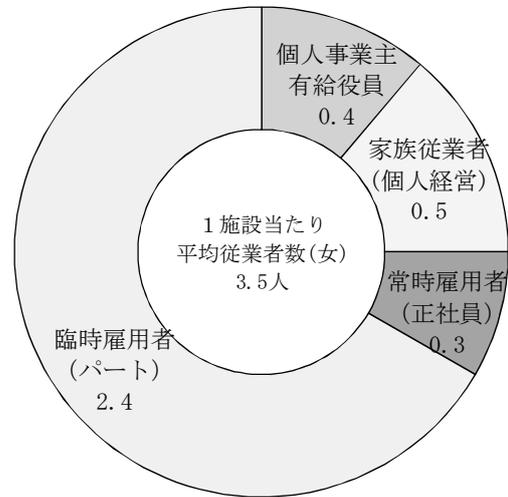
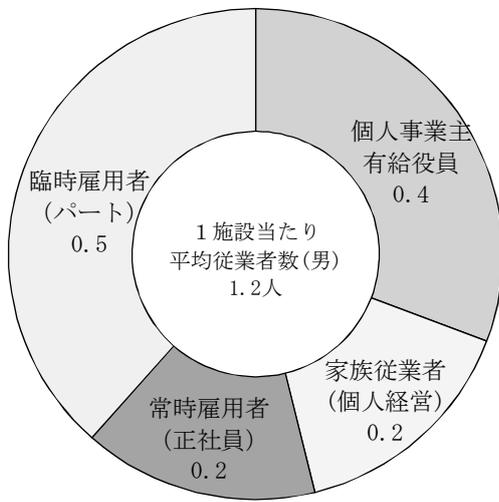
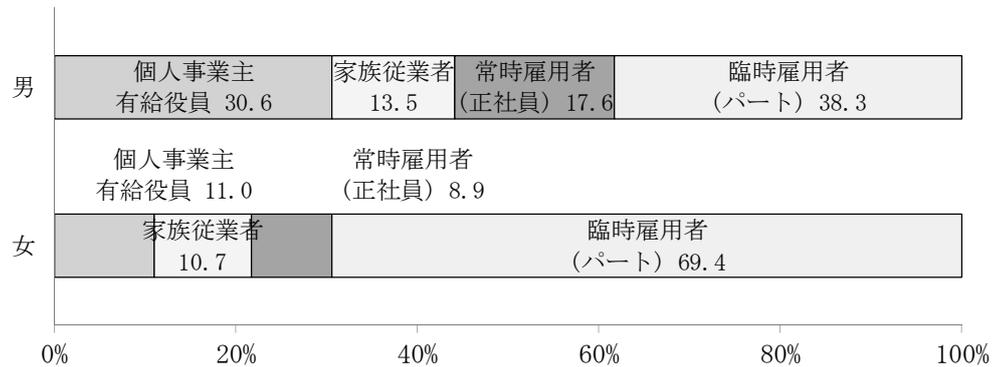
3 従業者に関する事項

(1) 従業者数

従業者数の1施設当たり平均従業者数を見ると、男性1.2人、女性3.5人となっている。

また、雇用形態の構成割合を見ると、男性、女性ともに「臨時雇用者（パート）」がそれぞれ38.3%、69.4%と最も高くなっている。

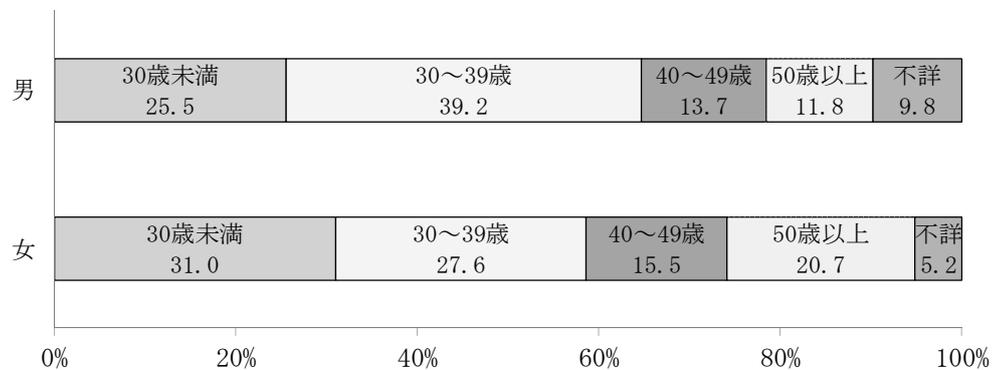
(図14) 従業者数、雇用の形態別従業者の構成割合



(2) 常時雇用者の性別年齢

常時雇用者（正社員）の性別平均年齢別施設数の構成割合を見ると、男性は「30～39歳」が39.2%、女性は「30歳未満」が31.0%と最も高くなっている。

(図15) 常時雇用者の性別平均年齢別施設数の構成割合

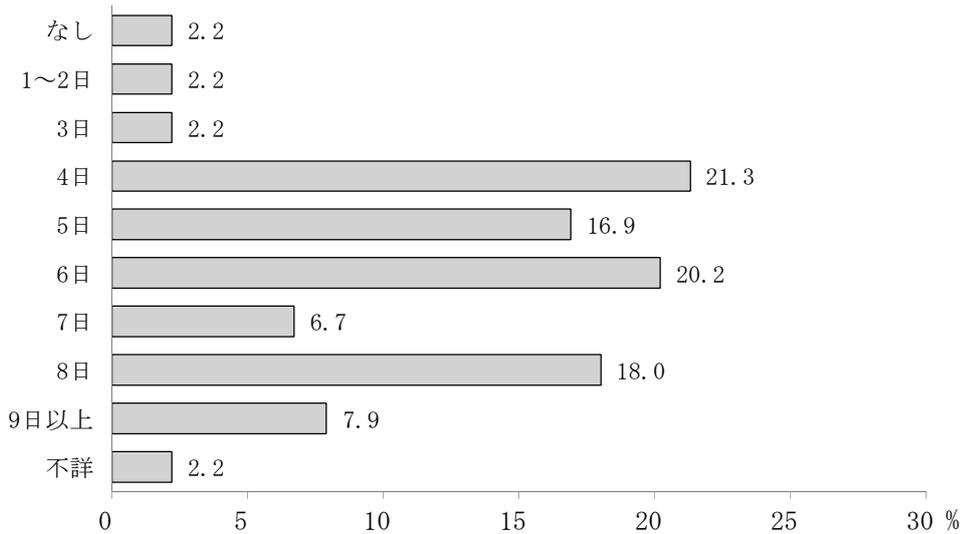


(3) 常時雇用者のいる施設の月平均休日数の月平均休日数

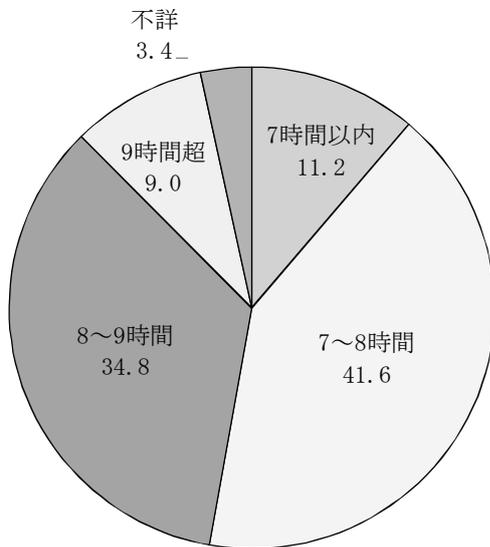
常時雇用者（正社員）がいる施設の1ヶ月の平均休日数は、「4日」が21.3%と最も高く、次いで「6日」が20.2%、「8日」が18.0%となっている。

また、1施設当たり平均休日数は5.8日となっている。

(図16) 常時雇用者の月平均休日数別施設数の構成割合



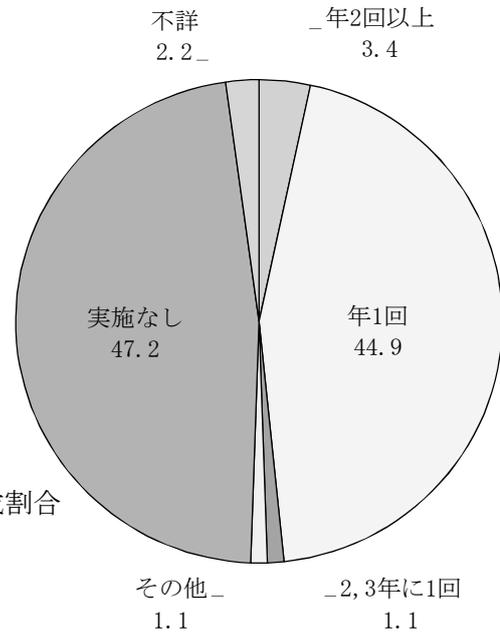
(図17) 常時雇用者の1日平均労働時間別施設数の構成割合 (単位: %)



(4) 常時雇用者のいる施設の1日平均労働時間

常時雇用者（正社員）の1日の平均労働時間は、「7~8時間」が41.6%と最も高くなっている。

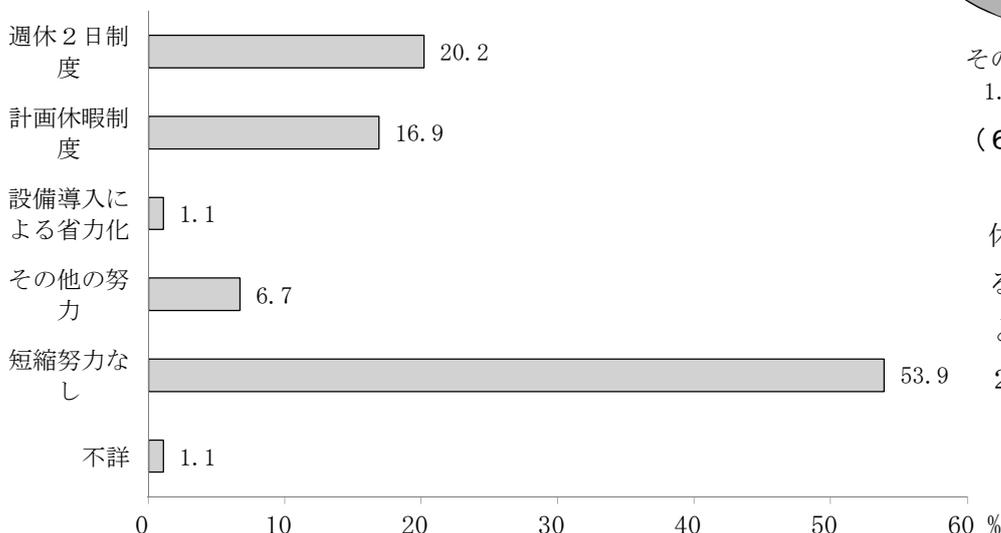
(図18) 健康診断の実施状況別施設数の構成割合 (単位: %)



(5) 健康診断の状況

健康診断の実施状況についての構成割合を見ると、「実施なし」が47.2%と最も高くなっており、次いで「年1回」が44.9%となっている。

(図19) 労働時間短縮のための努力、施設数の構成割合



(6) 労働時間短縮のための努力

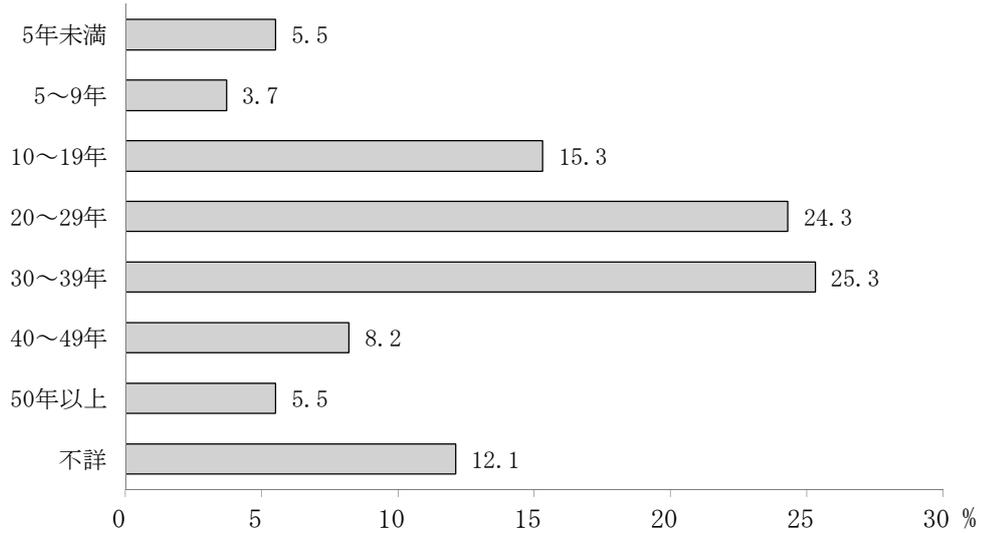
労働時間短縮のための努力（休暇制度や設備面等）をしている施設について、内容別に見ると、「週休2日制度」が20.2%と高くなっている。

4 土地、建物及び設備等に関する事項

(1) 建物の築年数

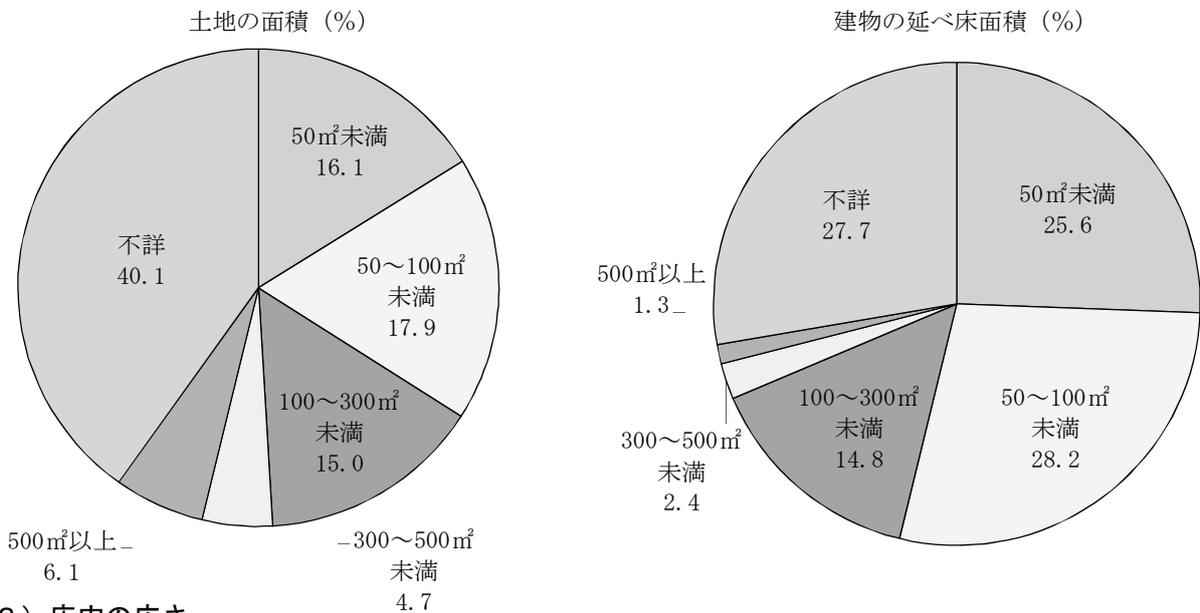
建物の築年数別施設数の割合を見ると、「30～39年」が25.3%と最も高く、次いで「20～29年」が24.3%、「10～19年」が15.3%となっている。

(図20) 建物の築年数別施設数の構成割合



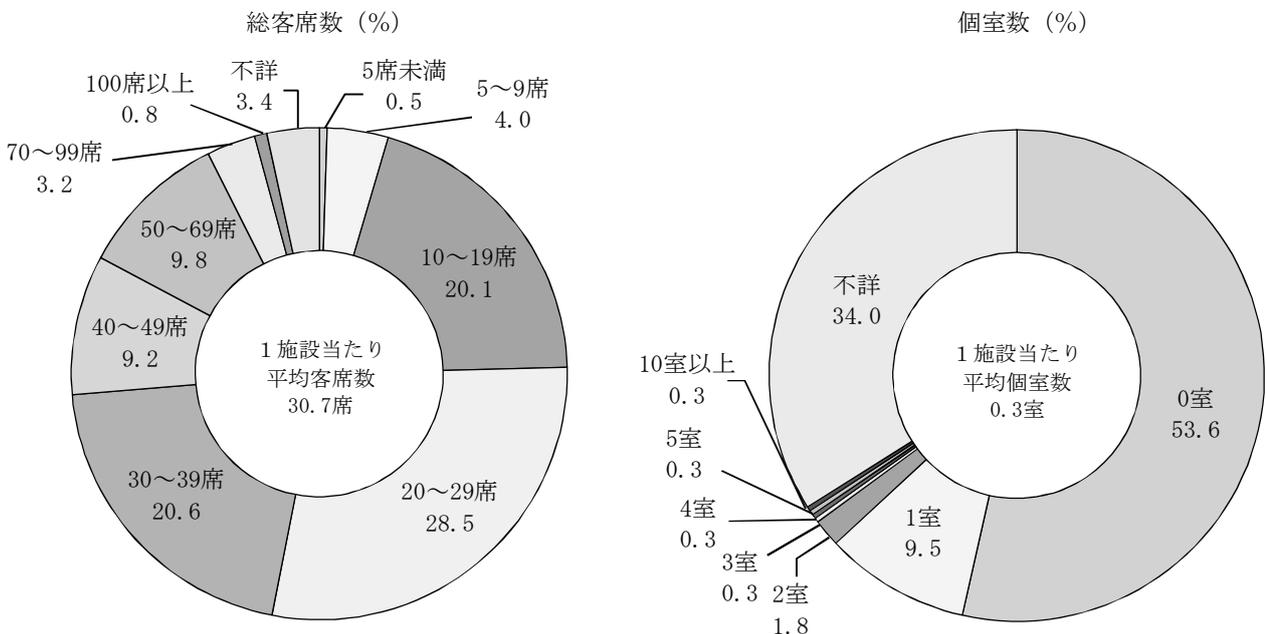
(2) 土地・建物の面積

(図21) 土地・建物の面積別施設数の構成割合



(3) 店内の広さ

(図22) 総客席数・個室数別施設数の構成割合

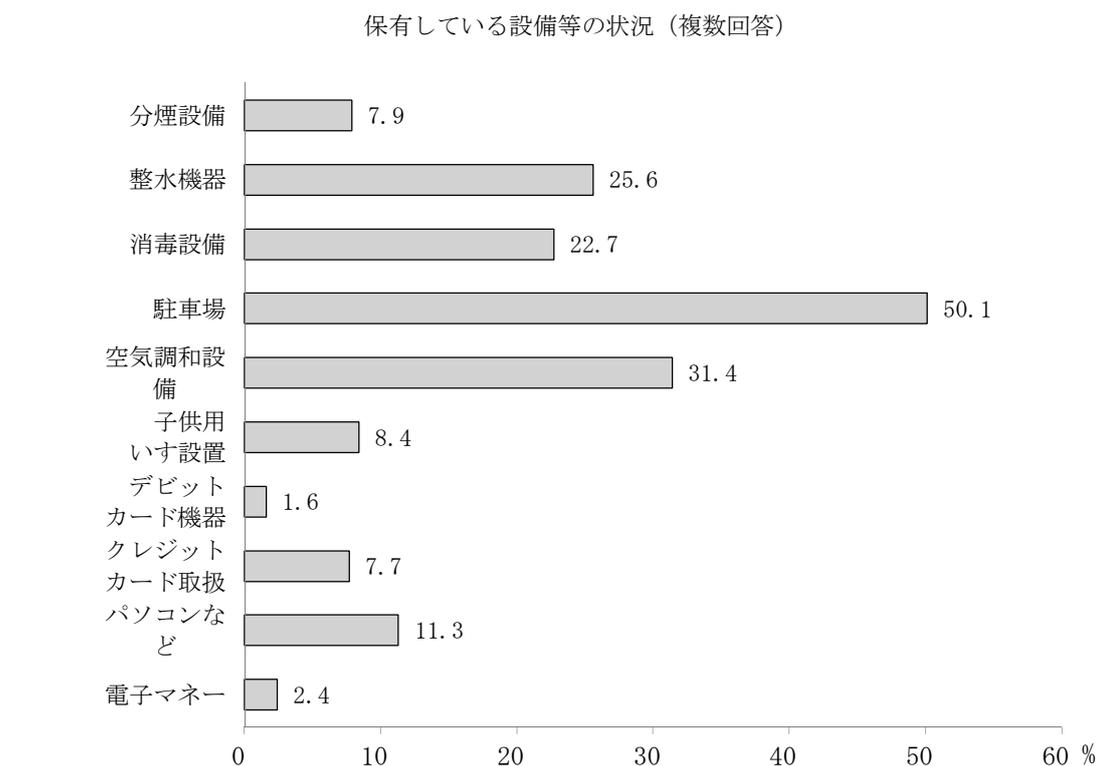
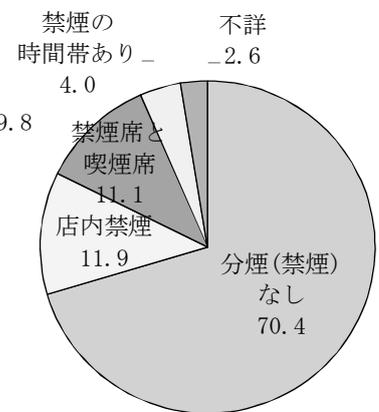
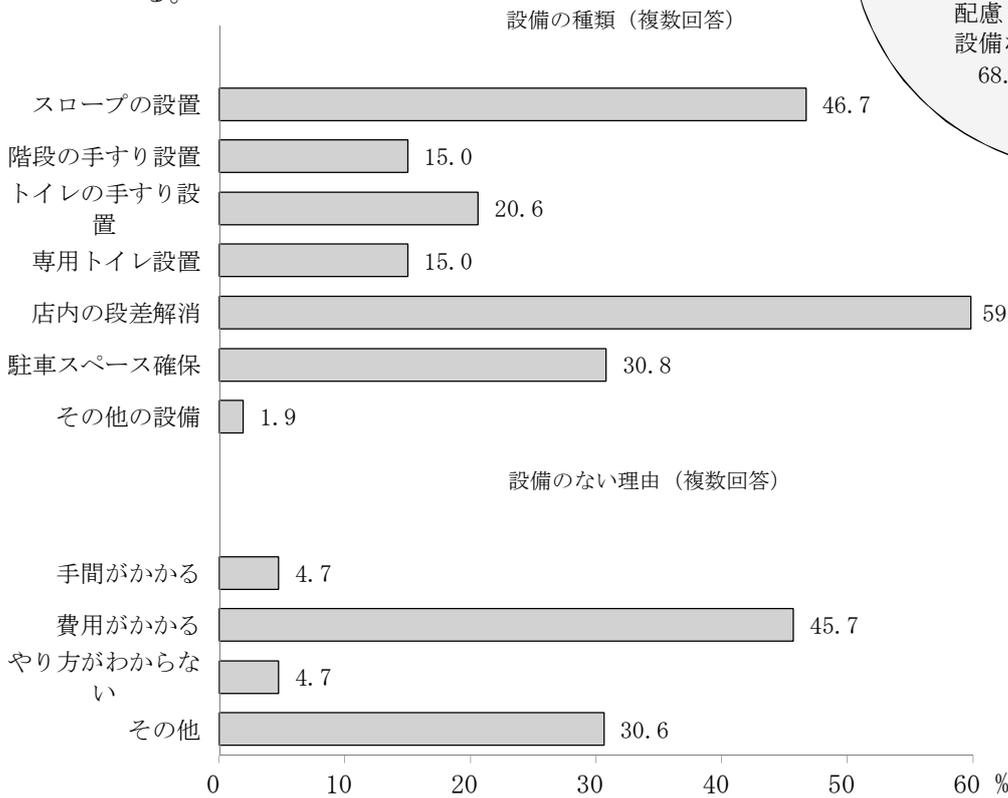
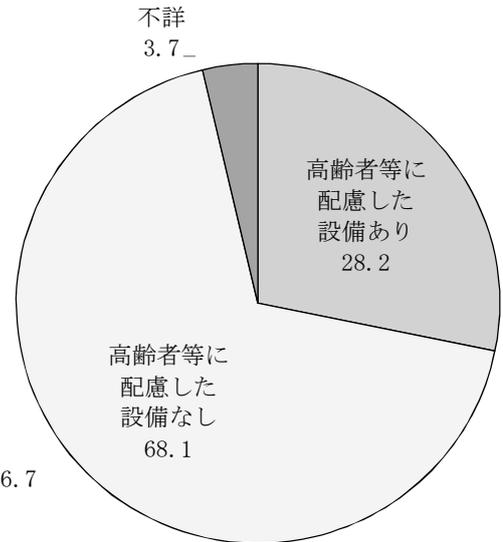


(4) 設備等の状況

(図23) 設備投資実績の有無別施設数の構成割合 (単位: %)

高齢者等に配慮した設備の状況について割合を見ると、「あり」が28.2%で設備の種類としては、「店内の段差解消」が59.8%と高くなっている。

また、保有している設備等の状況については、「駐車場」が50.1%、次いで「空気調和設備」が31.4%と高くなっている。



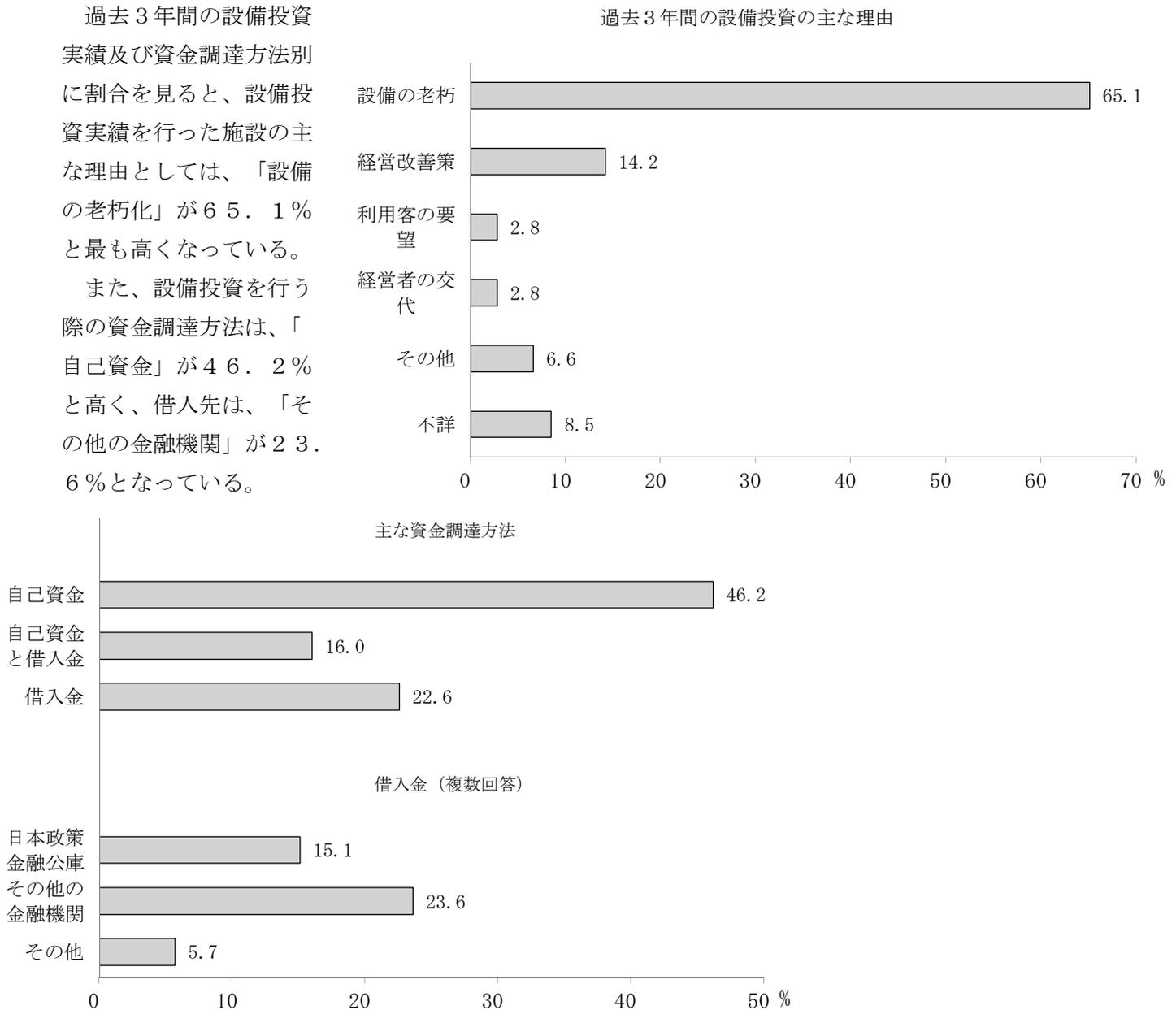
5 設備投資等に関する事項

(1) 過去3年間の設備投資実績及び資金調達方法

過去3年間の設備投資実績及び資金調達方法別に割合を見ると、設備投資実績を行った施設の主な理由としては、「設備の老朽化」が65.1%と最も高くなっている。

また、設備投資を行う際の資金調達方法は、「自己資金」が46.2%と高く、借入先は、「その他の金融機関」が23.6%となっている。

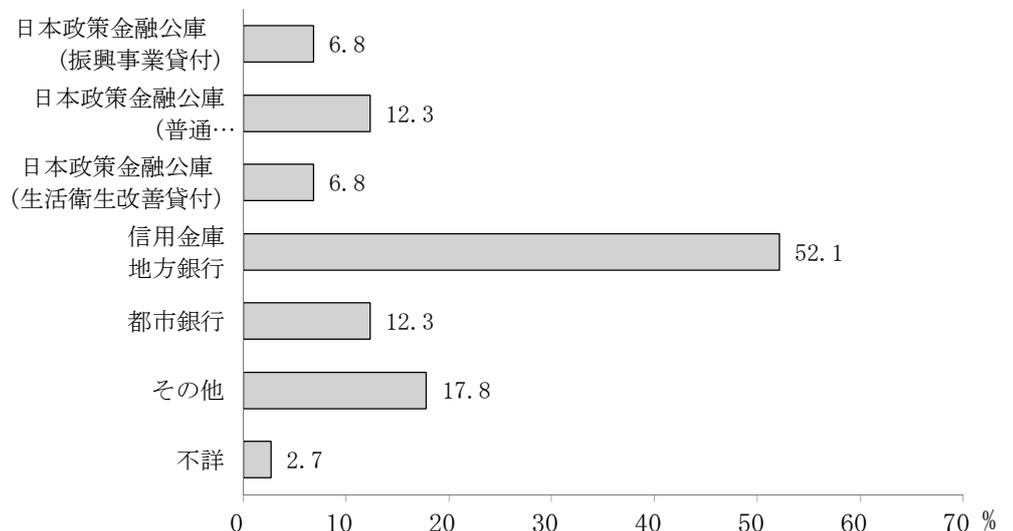
(図24) 過去3年間の設備投資実績及び資金調達方法別施設数の構成割合



(図25) 過去3年間の運転資金調達方法別施設数の構成割合 (複数回答)

(2) 過去3年間の運転資金調達方法

過去3年間の運転資金調達方法別に割合を見ると、「信用金庫・地方銀行」が52.1%と最も高く、次いで「その他」が17.8%となっている。

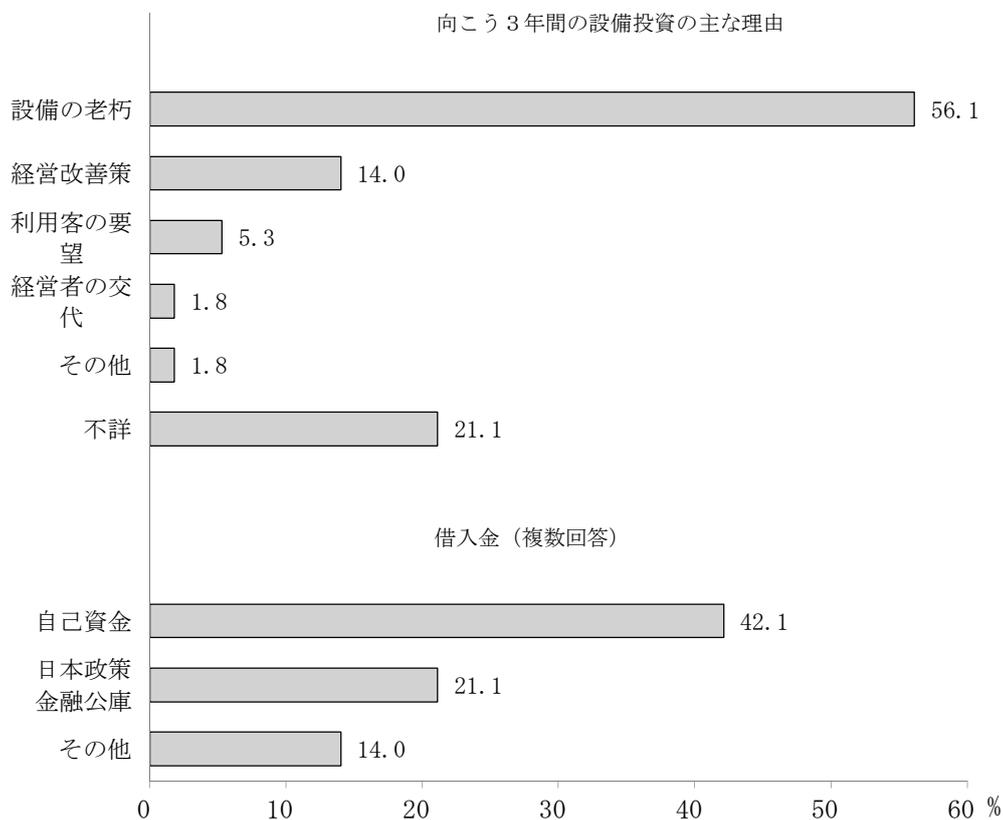
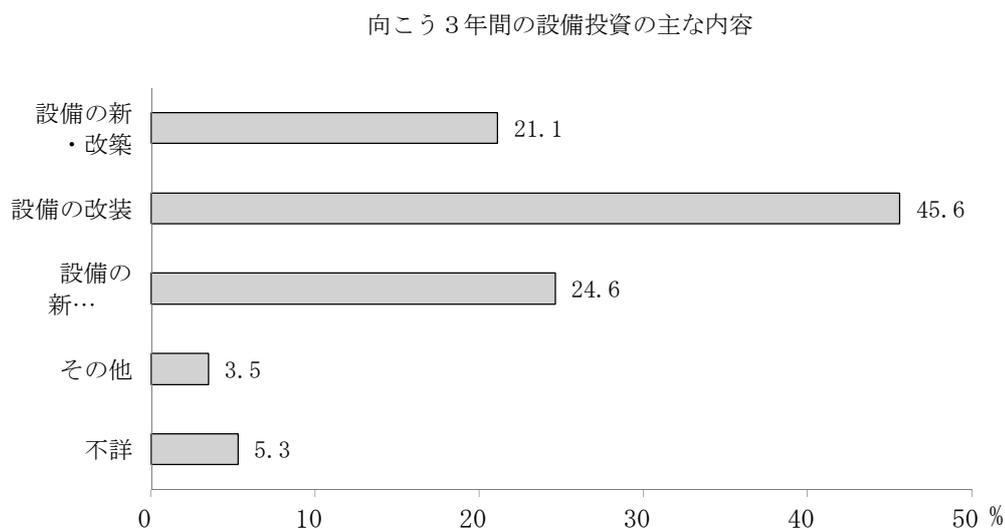


(3) 向こう3年間の設備投資予定

向こう3年間の設備投資予定及び資金調達方法別に割合を見ると、設備投資を行う予定の施設の内容としては、「設備の改装」が45.6%、理由としては「設備の老朽化」が56.1%と最も高くなっている。

また、借入先は、「自己資金」が42.1%と最も高くなっている。

(図26) 向こう3年間の設備投資予定及び資金調達方法別施設数の構成割合



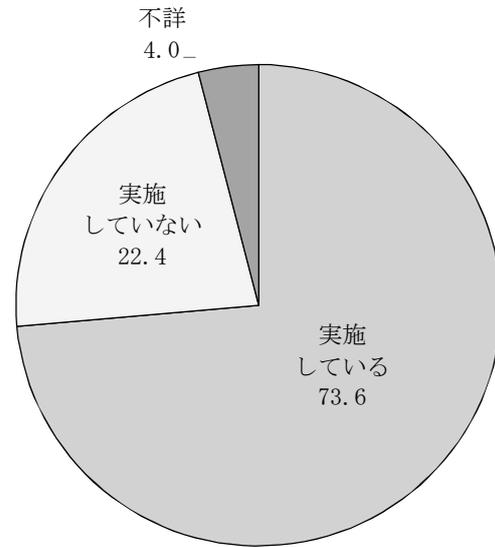
6 サービス関係の項目

(1) ゴミ減量化・リサイクル実施状況

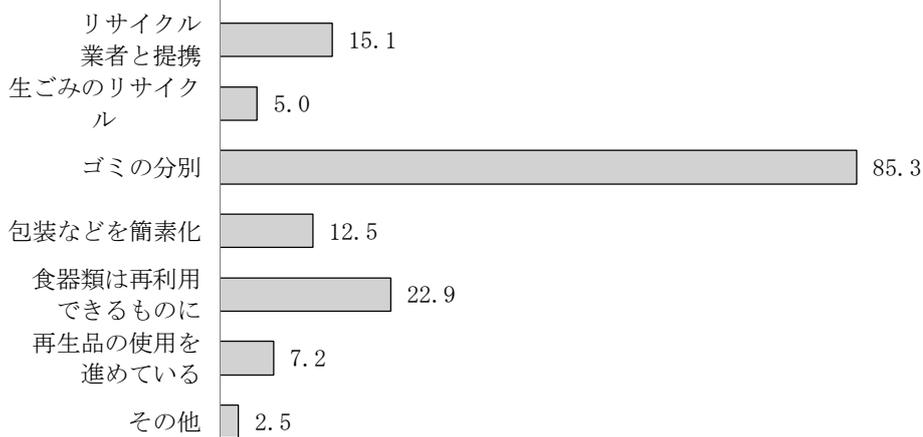
ゴミ減量化・リサイクル実施状況について割合を見ると、「実施している」が73.6%で取組の種類としては、「ゴミの分別をしている」が85.3%、次いで「箸や皿等の食器類は再利用できるものになっている」が22.9%となっている。

(図27) サービス等内容別施設数の構成割合 (単位：%)

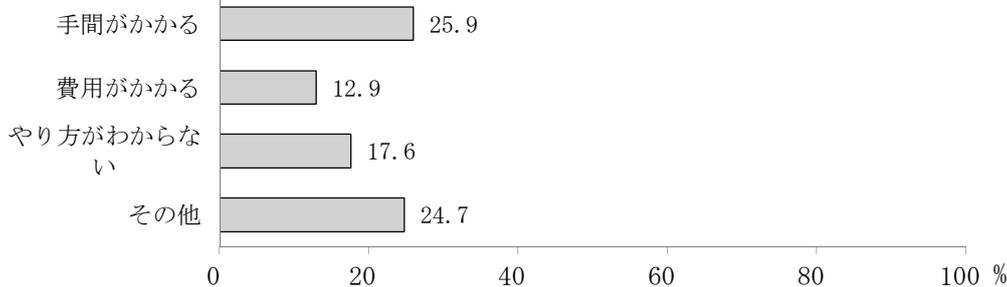
ゴミ減量化・リサイクル実施状況 (単位：%)



取組の種類 (複数回答)

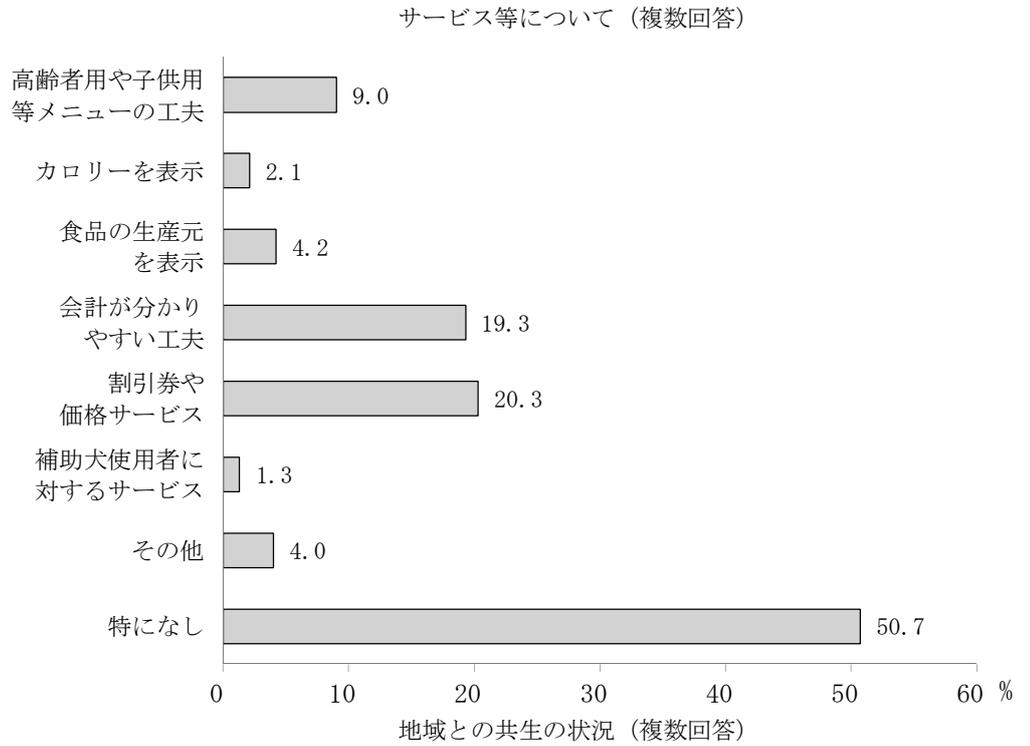


実施していない理由 (複数回答)



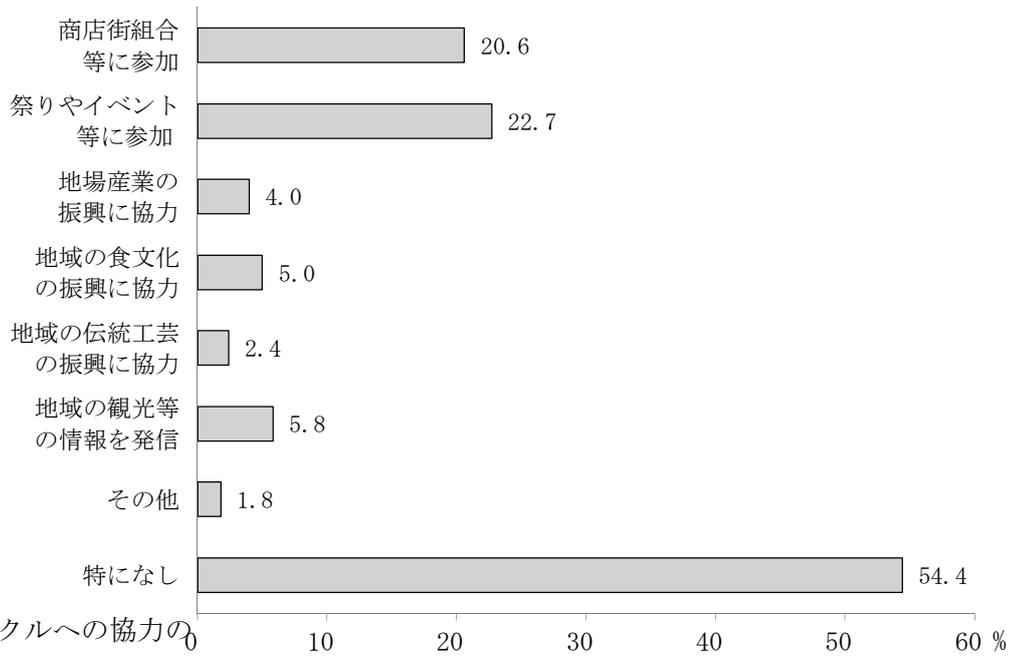
(2) サービス等について

サービス等の実施状況について割合を見ると、「割引券や特定日等の価格サービスをしている」が20.3%、次いで「会計が分かりやすい工夫をしている」が19.3%となっている。

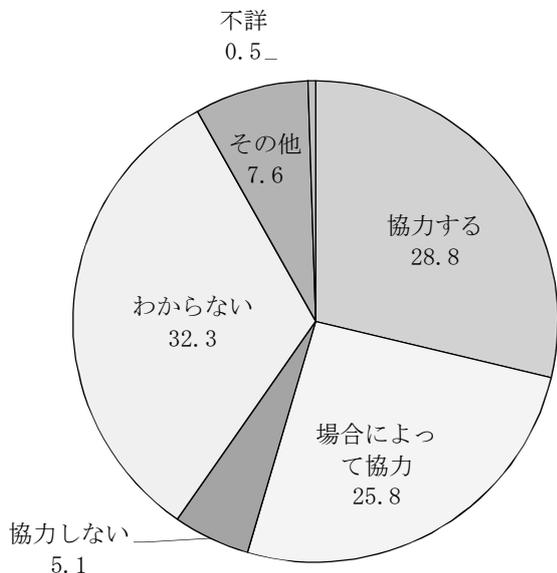


(3) 地域との共生の状況

地域との共生の状況について割合を見ると、「祭りやイベント等商店街の共同事業に参加している」が22.7%、次いで「商工会議所・商工会又は商店街組合に参加している」が20.6%となっている。



(図28) 廃食用油リサイクルへの協力の意思別施設数の構成割合（単位：%）



7 廃食用油関係の項目

廃食用油リサイクルへの協力の意思について割合を見ると、「協力する」が28.8%、次いで「場合によっては協力できる」が25.8%と全体の約5割を占めている。